スクール・ミッション

豊かな人格形成を目的とし、その実現のため、一般及び専門にわたる基本的教養を身に付けることを教育目標とし、地域の教育力を生かした進路活動や、ものづくり教室等で学んだ技術・技能を生かす機会を通じて、真理を愛し、責任を重んずる地域に貢献する技術者を育成します。

スクール・ポリシー

1　グラデュエーション・ポリシー

①基礎的・基本的な実験・実習を通して体験的に理解させ、工業技能・技術の習得。
②職業資格、検定・発表会に積極的に挑戦し、卒業までに３資格以上取得。
③全教科・科目において環境教育に取り組み、身の回りの環境整備を推進し美化意識を醸成。

2　カリキュラム・ポリシー

①生徒の実態に応じた授業を展開し、基礎・基本の確実な定着を図る。
②実験・実習を通して、「ものづくり教育」を推進し、積極的に技術・技能を身に付けさせる。
③全学年でキャリア教育を推進し、企業と連携しながら実践的な技能・技術を身に付けさせる。

3　アドミッション・ポリシー

①機械・電子・建築の分野に興味・関心をもち、ものづくりの技術・技能を身に付けたい生徒。
②身に付けた技術・技能を将来に生かしたい生徒。
③資格取得・検定試験にチャレンジする生徒。
④積極的に企業での就業体験に参加する生徒。
⑤部活動や生徒会活動を３年間続ける意思があり、学校行事に積極的に取組む意欲のある生徒。

●教育目標

1　教育目標

生徒の実態に即し、P(計画)➡D(実施)➡C(評価)➡A(改善)サイクルを定着させ、常に改善・充実を図る。いじめ・差別・暴力そして体罰は、絶対に認めない・許さない・見逃さない方針を周知・徹底し、安心して学び、一人一人が力を発揮できる教育環境創りに学校を挙げて取り組む。

2　指導の重点

(1)各教科・科目の指導

①生徒の現状に基づいて、各教科・科目の授業内容を精選し、「主体的・対話的で深い学び」の実践について、工業科の教員、普通科の教員が一体となり、授業改善や指導方法の工夫に取り組む。
②工業人として身に付けさせるべき基礎的技能・技術を習得させるとともに、学習意欲を高めさせ技能向上を図る。
③授業時数の確保に努め、習熟度別授業、少人数授業、授業・指導の工夫等により、生徒の理解度に応じた授業を展開し、基礎学力の定着を図るとともに発展的内容を取り入れる。
④学校全体で授業規律の確保に努め、各教科・科目で、基本的な学ぶ姿勢の指導を徹底する。
⑤生徒による授業評価と指導法の研究を実施するとともに、教員相互の授業見学や公開研究授業・研究協議会・校内研修等を行い、授業力向上に努め、教科横断的な視点から授業改善を進める。
⑥専門教科においては、実験・実習を通して理論と基礎技能・技術を身につけさせる指導を充実させ、自校で実施できる資格取得講習会の機会を拡充させる。また、地域産業界(熟練講師)や職業能力開発センターとの人材交流等の有効活用を図り、教育効果を高める。
⑦生徒が自ら問いを立てて、その解決に向けて情報を収集・整理・分析し、周囲の人と意見交換・協働する探究学習を進めていく。併せて、学習成果発表を通じて、学習習慣の形成や学習意欲の向上を実現し、学力のより一層の定着を図る。
⑧教科「人間と社会」の活動を通して他人に共感し、社会に役立つ喜びを体感させ、進んでボランティア活動や奉仕活動に参加する生徒を育成する。
⑨ICT環境を整備し、ICT機器やコラボレーションツール等の先端技術を効果的に活用した授業や、家庭学習を推進するとともに、正しい情報活用能力を育成する。また、一人一台端末の導入に対応した研修を行い、効果的な活用を目指す。

⑩東京都統一体力テストを実施し、得られたデータを元にした指導法の改善と、生徒の体力向上を図る。

(2)特別活動・部活動の指導
①生徒自ら自主的に運営できる能力を育成するとともに、部活動の加入率の向上に努める。
(アルバイト原則禁止を徹底させる)
②生徒会活動の活性化を図り、体育大会・江紫祭等の学校行事を一層充実させ、自主・自律の精神を涵養する。
③校歌指導の充実を図り、入学生に上級生自らが指導できる体制とする。
④地域の清掃活動等の実践により、生徒の社会貢献や思いやりの心を育み、豊かな人間性を育成する。また、地域との連携を一層強化し、愛される学校づくりを推進する。
⑤海外の学校との交流を通して他の国々の生活や文化、歴史等を正しく理解し尊重する心を育てる。

(3)生活指導
①遅刻指導、服装・頭髪指導等の改善・充実を進め、基本的生活習慣の確立と規範意識の指導を徹底して、場に相応しい振る舞いを、自ら考え実践できる生徒を育成する。
②日常の清掃活動等を通して、教室美化・校内美化に自ら目を向ける指導を行い、施設や設備を大切に扱う態度を育てる。また、ごみの分別を図ると共にリサイクル教育を徹底する。
③自己の可能性を引き出し、個性を発見・発揮できる機会を増加させるため、学校全体で、部活動を奨励するとともに、学校行事を一層精選・充実させる。
④努力した生徒、成果をあげた生徒を認め、励ます、褒める指導を行う。集会で表彰を行う。
⑤いじめ・差別・暴力をなくすため、スクールカウンセラーを一層活用し、養護教諭・学年・生活指導部・特別支援コーディネーターとの連携を強化して教育相談機能を高め、いじめ等の未然防止・早期発見に組織的に対応する。

(4)進路指導
①人間としての在り方・生き方の指導を充実させ、自己実現に向ける意識を高める。このため、毎学年進路調査を実施し統計処理して公表する。
②進路指導部・学年を中心に外部講師を活用するなど、進路ガイダンスを一層充実させる。
③２学年全員を対象にしたインターンシップを拡充させる。
④進路希望１００％実現と進路未定者０を目指す。

(5)総合的な探求の時間
３学年での課題研究（３単位）を通し、自己の専門性を活かしながら学び方・考える力を高め、創造的に問題を解決できる能力を育成し、自己の在り方・生き方を発見させる。まとめとして、３学期にプレゼンテーションソフト等を活用した課題研究発表会を実施する。

3　教育目標達成のための特色ある教育活動等
①国際理解教育を推進するために海外との交流を促進する。海外学校間交流推進校として、連携する学校とオンラインや渡航による対面での交流を図り国際理解を深める。令和７年度入学生より海外修学旅行の実施を検討し、他の国々の生活や文化、歴史等を正しく理解し尊重する心を育てる。
②小中学生を招き、ものづくりにかかわる受入授業や体験授業等を実施し工業教育・工科高校PRを推進する。